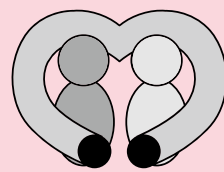


野洲っ子

育成の輪



はつらつ野洲っ子中学生広場「私の思い2026」



はつらつ野洲っ子中学生広場「私の思い2026」 中学生が自分の思いを堂々と発表！

7月4日（土）野洲文化小劇場で、はつらつ野洲っ子中学生広場「私の思い2026」を開催しました。主催者として、櫻本市長、北脇教育長、青少年育成市民会議三村会長、来賓として野洲市議会津村議長、守山野洲少年センター北川所長にご臨席いただき、自治会長、市民会議常任委員、学校園、各種団体から約160名が参集しました。

市内3中学校から選ばれた各学年1名ずつ計9名の中学生が、人との関わり・社会や身の周りで感じる人権や命の大切さ・未来への夢や希望・今ここにあることなどをテーマに、それぞれすばらしい意見発表をしました。

優秀賞には、中主中学校2年熊木愛咲姫さん、野洲中学校3年小池二瑚さん、野洲北中学校3年山本唯愛さんが選ばれました。

運営も各中学校の生徒が担当し、司会・人権尊重のまち宣言・受付や来賓誘導などをスムーズに行いました。生徒が思いを込めて作文を発表すると参加された方々は熱心に聴き入っておられました。

はつらつ野洲っ子育成フォーラム

小学生および中学生の代表が「まちづくり」について地域や人権の視点から考え、その思いや考えについて、市長や大人たちを交えてディスカッションします。また、地域で活躍している青少年の活動発表も行います。

日 時：2026年12月5日（土） 13時30分～（受付時間 13時00分～）

場 所：野洲市総合防災センター（野洲市辻町488） 申 込：不要

問合せ：野洲市青少年育成市民会議事務局（野洲市教育委員会生涯学習課内） ☎ 077-587-6053 FAX 077-587-3835

聞きに
来て下さい



はっつ野洲っ子中学生広場 「私の思い2026」



優秀賞3作品をご紹介します

意見発表および審査結果 (敬称略で記載しています)				
野洲中学校	1年	中村 天音	命の価値	入賞
野洲中学校	2年	南 さくら	広げる	入賞
野洲中学校	3年	小池 二瑚	しあわせのバケツ	優秀賞
野洲北中学校	1年	渡辺 莉子	私の弟	入賞
野洲北中学校	2年	千代 大雅	ぼくがここにいる理由	入賞
野洲北中学校	3年	山本 唯愛	弟が教えてくれたこと	優秀賞
中主中学校	1年	大堀 結翔	世界中の人々が共通して「おもしろいもの」って?	入賞
中主中学校	2年	熊木愛咲姫	意見の大切さ	優秀賞
中主中学校	3年	辻川 夢大	僕が尊敬する人	入賞

幸せとは、その頃の私は、笑顔でいること、友だちと過ごすこと、元気であること、テスト

自分の思いを綴りました。「幸せとは何か」をテーマに、

小学校六年生の卒業文集では、自分の心のバケツにたくさんの幸せを集めることを大切にして生きてきました。



あなたがとって幸せとは何ですか? この作文の題名は、幼稚園

しあわせのバケツ

野洲中学校三年 小池 二瑚

で百点を取ること、夢を持つこと、自分を信じることなど、心が喜ぶことそのものを幸せだと考えていました。

そして、中学校になり私にとつての幸せは「好きなことに挑戦できること」に変わりました。大好きな水泳や音楽は私を成長させてくれる大切なもので、努力を積み重ね、目標を達成できた時の喜びや達成感はとても大きなものです。たとえば、水泳でベストタイムが更新出来たとき、音楽で審査員から高い評価を貰えたときにそう感じます。その後に食べるご飯はいつも以上においしく感じますし、一日をやり切ったという満足感の中で眠りにつく時間は最高です。そして、自分の頑張りによって誰かが笑顔になってくれた時、私の心のバケツはさらに満たされていきます。私が選んだ好きなことは、すべてだれかの笑顔ををつくるもので、また輝かせるものであると思っています。今までの努力が実を結び、誰かのこころを温めてくれると信じて

います。

その一方で、「そんなにたくさんのかことをやって大丈夫なの」「一つに絞った方がいいんじゃないの」と言われたこともあります。確かにその意見にも一理あると思います。しかし、私は、自分のやりたいことに全力で取り組みながらも、「周りに迷惑をかけること」を大切な約束として行動してきました。限られた時間の中で工夫しながら努力を続けることで、自分の道の歩んできたつもりです。もちろんこれまでに、思い通りにならないことや不条理だと感じる経験もたくさんありました。しかし、そのような経験をただ苦しい思い出として終わらせるのではなく、自分の成長につなげるにはどうすればいいかを考えられるようになりました。失敗や悔しさを乗り越えるたびに、自分の心は少しずつ強くなっていったように思います。

「しあわせのバケツ」に出会ってから九年がたちました。その教えは今でも私の心の中に

生き続けています。今の私にとって幸せとは、誰かに喜びを与えたり、何かにチャレンジして心が満たされる状態のことだと思っています。

私が今、幸せを感じながら生活できているのは、私を支えてくれるたくさんの方がいるからです。友だち、先生方、コーチ、そして家族。皆さんはいつも私を応援し、背中を押してくれました。つらい時に励ましてくれたり、頑張った時に一緒に喜んでくれたりする存在がいることは、とても幸せなことだと思います。だからこそ、私は支えてくださる方々への感謝を忘れず、今挑戦している全てのことに全力で取り組みたいです。そして、成長した姿を見せることで恩返しをしたいと思っています。

来年には高校生になります。これから先、新しい仲間や価値観、新しい言葉との出会いが待っています。時には壁にぶつかることもあると思いますが、自分らしく前向きに挑戦を続けていきたいです。そして、自分

の心のバケツだけでなく、周りの人の心のバケツもいっぱいにできるような人になりたいです。

弟が教えてくれたこと

野洲北中学校三年

山本 唯愛



みなさんは、自分の命を大切にできていますか？

私は六歳のときに、まだ生まれて間もない弟を失ってしまいました。弟は、未熟児で生まれました。その体重は約五百グラムで、大人の手のひらにのるぐらいの大きさでした。そのため、弟は生まれてすぐ、新生児集中治療室に入っていました。

弟は、体の機能が完全にできあがっていない状態で生まれてきたため、たくさん治療が必要になりました。

生まれた時から、肺が未発達だったため、うまく呼吸することができず、人工呼吸器で呼吸

サポートが必要でした。私が生まれてすぐできたことが、弟はできなかったと聞いて、元気に生まれてくるのは当たり前ではなく、奇跡なんだと思いました。弟は特に、低体重で生まれたため、毎日たくさんの点滴をしていました。免疫力が弱いので、ウイルスから体を守る必要があり、さまざまな種類の薬を使っていました。また、自分でミルクを飲むことができなかったの

で、点滴で栄養をとっていました。体が小さく、感染しやすい状態だったので、感染予防の薬を使ったり、採血をして体の状態を調べてもらったりしていたそうです。

私は当時、小さかったので弟に会える回数が決まっていたけれど、小さな体で何度も点滴をして、会うたびにどんどん腫れていく腕を見て、本当にかわいそうで胸が張り裂けそうになったのを今でも覚えています。

お医者さんからは、「助からない可能性がある。」と言われていたのに、弟は、最後まで諦めず毎日がんばって生きようとしていました。その姿を見て、私は、「がんばれ。負けるな。」と、願うことしかできませんでした。しかし、その願いはかなわず、たった四ヶ月で、弟はこの世を旅立ってしまいました。生まれてきてくれてありがとうという感謝の気持ちであふれていましたが、私は現実を受け入れることができず、泣くことしかできませんでした。

弟とははなればなれになってからは、赤ちゃんを見るとつらいときもありました。けれど、少しずつ現実を受け入れられるようになり、少しの間でも、弟と一緒にいれてよかったなと思えるようになりました。

ほとんどの人は、当たり前のように生きていますが、私は、日常は当たり前ではなく、かけがえないものだと思います。友だちと一緒に居られること、美味しいご飯を食べること、学校に行って勉強できること、家族と過ごせること、このような毎日できている当たり前のことは、

全てかけがえのないことだと思います。

私の弟のように、まだ生まれて間もないのに、この世から旅立ってしまう子もいます。だからこそ、今、できていることを当たり前だと思わずに、一日一日を大切に生きていこうと思いました。これから辛いことがあっても、弟のように一生懸命生きる姿を忘れずに毎日を大切に過ごしていきたいです。みなさんも、これからたくさん辛いことがあるかもしれませんが、命の大切さを忘れず、どんなときも前を向いて一日一日を大切に生きてほしいと思います。



意見の大切さ

中井中学校 年 熊木 愛咲姫
くまき あさひ



私は、自分の意見を出すのが苦手です。授業や、クラスで何

か決める時の話し合いでも「どう思う?」と聞かれたら「そう思う」や「みんなと一緒に」と返すことが多いです。自分の考えが合っているのか不安になったり自分の意見を出して周りにどう思われるのか気になったりして、なかなか言葉にできません。このように、意見を出せない理由は大きく分けて三つあります。一つ目は、自分に自信がないことです。自分の考えが間違っていたらどうしようと思うと、言う前に不安になってしまします。特に、頭が良い人がいると、自分の意見は大したことないと感じてしまい、ますます発言しにくくなります。また、うまく説明できなかったらどうしようという気持ちもあり、それも不

安を大きくしてしまいます。

二つ目は、周りの目を気にしすぎてしまうことです。自分の意見を言つて「変だ」と思われたり、笑われたりするのではないかと考えてしまい、怖くなつてしまいます。反対されることにも慣れていないので、少しでも否定される可能性があるのと、何も言わないのが一番良いと思つてしまいます。その結果、無難な答えを選び、みんなに合わせるが増えてしまいます。三つ目は、意見を出すことに慣れていないことです。これまであまり発言してこなかったため、いざ話そうとしても、言葉がうまく出てこなかったり、タイミングが分からなかったりします。その結果、また言えなかったという経験が増えて、苦手意識が強くなつてしまうという悪い流れになっています。また、一度言えなかったという経験が、次の場面でも影響してしまい、「どうせ言えないから」と最初からあきらめることもあります。そうした気持ちが続く



ことで、自分の中の意見を出すことへのハードルがどんどん高くなつてしまつていると感じます。

しかし、このままでは良くないとも思っています。意見を出さないと自分の考えは誰にも伝わらず、話し合いにもきちんと参加してはと言えません。また、周りに合わせてばかりいるのか分からなくなつてしまふこともあります。それはとてももったいないことだと思いますし、自分自身の成長の機会を失つてしまつているとも感じま

す。自分の意見を持ち、それを伝えることは私にとって簡単ではありませんが、とても大切なことだと思います。だから私は、少しずつでも意見を出せるようになりたいです。いきなり大きな場で話すのは、かなり難しいので、まずは班などの小さな場から挑戦したいです。例えば、友だちとの会話で自分の意見を出したり、少しでも発言したりしたいです。また、自分の中で考えをまとめるのも大切だと思います。あらかじめ考えを整理しておくことで、話すときに言いやすくなると思います。たとうまく言えなくても、その経験が次につながると思っています。あきらめずに続けていきたいです。これからは怖がりすぎず、自分の気持ちを大切にしながら、少しずつでも自分の言葉で考えを伝えられるようになりたいです。また、人の意見を聞くことも大事にしていきたいです。そして私は、人の意見も自分の意見も大事にできる人間になりたいです。

表彰された皆さん



発表された皆さん



はつらつ野洲っ子中学生広場「わたしの思い2026」運営委員

※敬称略で掲載しています

運営委員

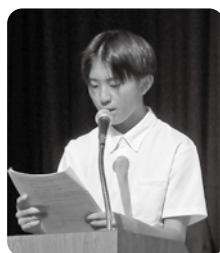
司会・受付・誘導係

【中主中学校】	たなか りえ 田中 理愛	たなか なつき 田中 夏希
【野洲中学校】	いそ がわたい ち 五十川 太治	みぞぶち ふみや 溝渕 史也
【野洲北中学校】	もり あおい 森 愛央衣	ののむら さくら 野々村 さくら

担当教員

なか の 仲野 遥香 (中主中学校)	はるか ひろあき かめづか みほ 多賀 裕秋 亀塚 美穂 (野洲中学校)
やまなか たけお 山中 健生 (野洲北中学校)	

人権尊重のまち宣言



司会担当

受付・誘導担当



《青少年育成活動の紹介》子どもの健全育成と地域づくりに取り組まれている各地の活動を紹介します。

野洲幼稚園 地域学校協働活動

ぽかぽかさんとの カレーパーティー

本園では毎年、子どもたちが園内の畑で野菜を育て味わう食育を取り入れています。7月8日のカレーパーティーでは、ボランティアチーム「ぽかぽか隊」が調理支援と園児交流で参加しました。

前日までに園児たちが収穫した野菜は、5歳児が、包丁を握って切り、ぽかぽか隊は大きなお鍋で煮込みます。クラス毎に見学に来る園児たちに、どんな野菜が入っているか見せたり、カレールーを入れて「美味しくなあれ」と一緒に魔法をかけました。



出来上がったカレーは各保育室に運ばれ、ぽかぽか隊も園児と一緒に味わいながら「みんなが頑張って育てた野菜、美味しいね～」と笑顔いっぱいの時間を過ごしました。3学期にはおでんで交流する予定です。

～ ぽかぽか隊について ～

学校運営協議会とPTAで企画したボランティアチーム（愛称は「ぽかぽかさん」）子どもたちを温かく見守るおひさまのイメージから命名しました。太陽は地域の方々、新芽は子どもたち、太陽の周りの虹色は個性やクラスカラーを表しています。前年度から



活動を開始し、幅広い自治会の皆さんにご参加いただきます。学区の方のご参加お待ちしております。

祇王小学校 地域学校協働活動

祇王大好きプロジェクト

～ 地域の力を学校に！
学校の元気を地域に！～

祇王小学校には、「ひまわりルーム」という部屋があり、地域の方や保護者サポーターが気軽に集っていただける場になっています。



子どもが部屋まで迎えに来て、一緒に授業に向かいます。終わった後は、お茶を飲みながら授業での子どもたちの様子を楽しく語り合うなど和やかな空気が流れています。この部屋を地域学校協働活動の拠点にして、様々な教育活動への支援が進んでいます。例えば、2年生の「九九マスター」では、子どもが唱える九九に一生懸命耳を傾け、励ましの言葉をかけてくださいます。九九を聞いてもらってうれしそうな子どもと、「子どもから元気をもらった」と言ってくれる地域の方…。双方の笑顔が溢れます。

また、毎週水曜日昼休みの「見回りひまわり隊」や参観後の「おそうじひまわり隊」、朝の「絵本読み聞かせひまわり隊」など、新たな学校支援も進みました。学校が少しずつ地域に開かれた学校になり、子どもたちの心の中に、身近な地域の大人に



支えられている安心感と祇王大好きな気持ちが広がっています。

野洲市 青少年育成市民会議 表彰の推薦について

野洲市青少年育成市民会議では、優れた活動や善行を行った青少年、あるいは青少年健全育成成功労者に対して表彰を行っています。該当する個人および団体がありましたら、ご推薦をお願いします。

推薦書に必要事項を記入のうえ、事務局まで郵送・FAXまたはご持参ください。

推薦基準

野洲市青少年育成市民会議表彰募集要領・運用

規程・運用規程指針

※推薦書・募集要領・運用規程・運用規程指針は、事務局窓口または市ホームページからダウンロードできます。

(<http://www.cityyasu.lg.jp/>)

締め切り 2026年10月30日(金)

表彰式 2027年2月6日(土)

問合せ先 野洲市青少年育成市民会議事務局

(野洲市教育委員会生涯学習課内)

TEL 5007-9059

FAX 5007-9059

※野洲市教育委員会は、人権センターの2階です。